

## 3) 消化器内科

### 1. 診療体制と患者構成

#### 1) 診療科スタッフ

高橋 信一 (教授、診療科長)

久松 理一 (教授)

森 秀明 (教授、外来医長)

川村 直弘 (講師、病棟医長)

徳永 健吾 (講師、医局長)

#### 2) 常勤医師、非常勤医師

常勤医師数：36名

非常勤医師数：38名

(専攻医24名、出向中レジデント6名、客員教授・非常勤講師8名)

#### 3) 指導医数、専門医・認定医数 (常勤医における人数)

##### ・指導医

日本内科学会指導医：10名

日本消化器病学会指導医：3名

日本消化器内視鏡学会指導医：8名

日本肝臓学会指導医：2名

日本超音波学会指導医：2名

日本カプセル内視鏡学会指導医：1名

##### ・専門医

日本内科学会総合内科専門医：4名

日本消化器病学会専門医：16名

日本消化器内視鏡学会専門医：13名

日本肝臓学会専門医：7名

日本超音波学会専門医：2名

日本消化管学会暫定専門医：7名

##### ・認定医

日本内科学会認定医：18名

日本カプセル内視鏡学会認定医：3名

日本ヘリコバクター学会認定医：12名

日本がん治療認定医：2名

日本病院会認定人間ドック認定指定医：1名

#### 4) 外来診療の実績 ( ) 内は平成26年度の実績

##### ・専門外来の種類

月曜日から土曜日まで、上部消化管・下部消化管疾患、小腸疾患、肝・胆道疾患、脾疾患などを専門とする担当医がそれぞれ外来診療を行っており、あらゆる消化器病に対処できる診療体制をとっている。

本年度は新たに炎症性腸疾患外来、小腸検査外来を設け、特殊疾患に対しより専門性をもって診療を行っている。

・外来患者総数：34,337名 (32,757名)

5) 入院診療の実績 ( ) 内は平成26年度の実績

- ・患者総数 26,869例 (24,367名)
- ・死亡患者数 85例 (82名)
- ・剖検数 4例 (2名)
- ・平均在院日数 15.3日 (15.9日)
- ・稼働率 94.3% (93.8%) (3-7病棟)
- ・主要疾患患者数 (別紙リストをご参照下さい)

病名	人数 (平成25年度)	人数 (平成26年度)	人数 (平成27年度)
胃潰瘍	292	247	226
十二指腸潰瘍	38	31	34
食道癌	47	42	76
胃癌	45	36	42
イレウス	82	94	86
大腸ポリープ	145	122	155
クローン病	19	8	24
潰瘍性大腸炎	34	9	58
虚血性腸炎	13	9	6
大腸憩室出血	46	47	56
S状結腸軸捻転	4	5	5
上部消化管出血	46	45	59
下部消化管出血	71	52	28
大腸癌	15	20	16
肝硬変	156	167	192
B型慢性肝炎	19	10	7
C型慢性肝炎	37	30	16
自己免疫性肝炎	17	7	13
原発性胆汁性胆管炎	16	20	25
原発性硬化性胆管炎	13	5	6
急性肝炎	8	17	5
劇症肝炎	3	1	0
肝膿瘍	22	29	23
肝細胞癌	143	129	129
胆嚢結石	72	61	52
総胆管結石	108	136	130
胆嚢癌	14	7	21
胆管癌	66	94	86
急性膵炎	44	54	55
慢性膵炎	14	13	14
膵管内乳頭粘液性腫瘍	7	4	6
膵癌	60	82	104

## 2. 先進的医療への取り組み

一般的消化器疾患診療の他、以下の先進的医療を行っている。

- ・ 上部消化管疾患  
食道静脈瘤・胃静脈瘤に対する緊急止血、同出血予防目的の内視鏡的治療、BRTOなどの併用による集学的治療  
各種胃・十二指腸疾患に対するHelicobacter pyloriの診断と除菌療法  
食道・胃腫瘍に対する内視鏡的治療（EMR、ESD）  
カプセル内視鏡、ダブルバルーン内視鏡による小腸疾患の診断と治療  
超音波内視鏡下穿刺生検による胃粘膜下腫瘍の診断
- ・ 下部消化管疾患  
大腸腫瘍に対する内視鏡的治療（EMR、ESD）  
潰瘍性大腸炎・クローン病に対する集学的治療
- ・ 肝疾患  
肝癌に対する集学的治療（RFA、TACEなど）  
慢性肝疾患に対する栄養療法  
C型・B型慢性肝疾患に対する療法  
劇症肝炎に対する集学的治療
- ・ 胆道・膵疾患  
閉塞性黄疸に対する内視鏡的治療あるいは超音波下ドレナージ療法  
重症膵炎に対する集学的治療  
超音波内視鏡下穿刺生検による胆道・膵腫瘍の診断  
超音波内視鏡下膵仮性嚢胞ドレナージ術

## 3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

- ・ 早期胃がん、胃腺腫に対する内視鏡的治療：EMR 6例、ESD 39例
- ・ 食道静脈瘤に対する内視鏡的治療：89例
- ・ 内視鏡的ステント挿入術：消化管ステント9例、胆道・膵管ステント9例
- ・ 食道狭窄拡張：46例
- ・ 上部消化管出血に対する内視鏡治療：119例
- ・ 内視鏡的乳頭切開術：149例
- ・ 総胆管結石碎石術：114例
- ・ 大腸腫瘍（大腸がん、大腸腺腫）に対する内視鏡的治療：EMR 553例、ESD 23例

## 4. 地域への貢献

病診連携を基本に、地域医師会や病院勤務医あるいは実地医家の先生方との密接な関係を構築すべく、多摩地区を中心に各種講演会、研究会などを開催している。すなわち多摩消化器病研究会（1983年設立）、多摩消化器病シンポジウム、三多摩肝臓懇話会など6つの研究会を通し、地域医師へ最新の診断・治療法を提供し、またその問題点を明らかにし、共通の認識を元に病診連携を行っている。